



組合員と生産者がともに育てあう生協の産直

アクト商会

産直 大粒で、甘くジューシー アクトのブルーベリー

多品種で長く楽しめる 大粒の甘いブルーベリー

ほのかな酸味と甘みがほどばしる、大粒でジューシーなブルーベリー。約1500本のブルーベリーの果樹が広がる高山さんの農園では、初夏から9月初旬にかけて収穫の時期を迎えています。



「ブルーベリーは500種類以上の品種があり、それぞれ甘さや大きさが違うんです」と教えてくれた高山さん。甘味や粒の大きさにこだわるとともに、長い期間楽しめるよう収穫の時期が異なるものや、新しい品種などを40種類セレクト。生協では、3種類以上の品種を混ぜたものを販売しています。



Profile

アクト商会
(あわら市)
高山 直之さん

1haの果樹園で、約1,500本のブルーベリーを栽培。農薬・化学肥料不使用で、福井県特別栽培の最上級グレードの認証を取得。

安全・安心に配慮した、さまざまな取り組みを行う高山さん。「でも、基本的にはあまり頑張らないクをテーマにしているんですよ」と笑います。



ひと粒ひと粒丁寧に収穫 摘みたての新鮮さを提供

「ブルーベリーの原産地は北米の寒冷地なので、北陸の気候にあっています」と高山さん。さらに、土壌が酸性で、水はけが良いあわら市の丘陵地であることも栽培に適しているのだそう。ただ、その一方で乾燥に弱い一面もあり、高山さんは対策として根元に細かな木のチップを敷き詰めています。他にも、花や実を食べてしまつて野鳥を、大きな音で威嚇するなどの苦労もあるそう。「そのまま口にするものなので、農薬や化学肥料を使わない」というこだわりで、福井県特別栽培で最上級グレードの認証を受けています。



ハイブッシュ系
4月下旬開花の様子



ラビットアイ系



「しっかりと手をかけて育てているから、組合員のみなさんに美味しいと言ってもらえるとうれしいですね」と胸を張る高山さん。自称「頑張らない」頑張り屋さんが大切に育てたブルーベリーは、今年も美味しく実っています。



たんぼぼツアーの様子

上手な保存方法



追熟はしないので、冷蔵庫で保存し、なるべく早めにお召上がりください。残ったときは、冷凍保存もおすすめ。「シャリシャリとシャーベットみたいになって、生とは違った美味しさですよ」。

八 (取り扱い予定)
宅 (次回7月2回~8月3回(予定)
(ふくい~な))

オススメの食べ方



「3~4粒を1度に口に入れると、異なる品種の味が混ざって美味しい」と高山さん。ヨーグルトやジャムにはもちろん、お酢に漬けてフルーツビネガー(レシピは8ページ)にしたり、果実酒にしたりするなど、楽しみ方は多彩です。「酸味があるので肉料理のソースに使う方もいたり、用途は広いですね」。